

## 第1929回埼玉県教育委員会定例会

- 1 日 時 令和4年4月28日(木) 午前10時開会  
午前11時6分終了
- 2 場 所 埼玉県教育局教育委員会室
- 3 出席者 高田教育長、石川教育長職務代理者、戸所委員、坂東委員、小林委員、首藤委員、石井副教育長、古垣教育総務部長、石川県立学校部長、石井市町村支援部長、大山市町村支援部副部長、田中高校教育指導課長、田中県立学校人事課長、阿部市町村支援部参事兼小中学校人事課長、佐藤魅力ある高校づくり課長、県立学校人事課吉野主任管理主事  
案浦書記長、岩崎書記、原口書記、森田書記
- 4 会議の主宰者 高田教育長
- 5 会 議
- (1) 前回議事録の承認
- 全出席委員異議なく本件記載どおり承認
  - 高田教育長が、坂東委員を議事録の署名者に指名した。
- (2) 報告事項
- 令和4年度埼玉県公立高等学校入学者選抜実施状況について
- 田中高校教育指導課長(提出理由、全日制の課程及び定時制の課程及び学力検査の結果について説明)
- 戸所委員 受検者数、入学許可候補者数は昨年度と若干増えており、昨年度は私立高校の受検者数が増えていたため、いい傾向ではないかと感じました。学力検査の平均点は、ほとんどの教科が下がっています。例えば、数学は10点以上下がっています。この原因はいろいろなことが考えられると思いますが、ど

のような理由があるのか教えてください。

田中高校教育指導課長 令和4年度高校入試に関しては、中学校で新学習指導要領が全面実施になったため、思考力・判断力・表現力を見る問題が増えました。出題は、過去の正答率も踏まえ、例年どおりの難易度を設定しましたが、数学は平均点が10点以上下がってしまいました。具体的な問題を紹介すると、数学では、サイコロを投げて出た数字で座標を平面上に点を取ったときにできる三角形の面積を求める問題を出題しましたが、個々のものは既習の学習事項ではありますが、思考力・判断力・表現力を見るということで組み合わせた問題としたため、受検生にとっては、解き慣れていない問題になってしまったと感じています。今後、詳細な答案の分析をしますが、次年度以降、どのように出題をするか、難易度等をどのようにするのか、検討していきたいと考えています。

戸所委員 平均点ですのでいろいろなことが考えられますが、昨年度はコロナ感染症の影響により出題範囲を狭めました。今年は元に戻したことや、新学習指導要領の考え方や出題の方法の変更により、受検生が戸惑ったこともあるかもしれません。学校選択問題の平均点も下がっており、上位層、中間層、下位層のどの層が落ちているのか、これから分析をするとともに、原因を確認することが非常に大事だと思います。また、時系列や得点の分布図なども考えてみることも必要であると思います。昨年度の報告ではそれぞれの生徒のトラッキングレコードを見て、埼玉の生徒は上がってきていると聞いているので、そうするとその報告との整合性を取りにくいと感じます。そのため、どのような原因であったのか分析し、今後報告してもらいたいと思います。

田中高校教育指導課長 問題の難易度は例年どおりだと感じていますが、生徒の回答の仕方や得点の分布などを細かく分析し、安易に簡単な問題を作成することなく、いい問題を作るという認識の下、工夫していきたいと考えています。

石川教育長職務代理者 学校選択問題の数学の平均点が低いですが、以前、学校選択問題を選択していたが、点数が悪いため、他校と同じように学力検査問題に戻した学校がありました。今回の試験で学校選択問題を選択し、点数が芳しくなかった学校はあるのでしょうか。学校選択問題を選択し、平均点が著しく

下がってしまう場合より、学力検査問題で実施することで生徒の学力を正しく把握できるのではないかと感じます。

田中高校教育指導課長 各学校の詳しいデータを今示すことはできませんが、それぞれの学校が学校選択問題を選ぶに当たって、進学等を重視する等、いろいろと検討する中で、各学校の判断で選択をしています。学校ごとの内容を分析した上で、今後どのようにすべきか相談していければと思います。

石川教育長職務代理者 例えば、あまりにも平均より下回るような学校の場合、教育委員会として何かしら指導があるのでしょうか。もしくは、あくまでも各学校の判断で学校選択問題を選択するのでしょうか。

田中高校教育指導課長 基本的には学校選択問題は、各学校の判断によって選択します。しかし、御指摘の内容も含めて、よく相談しながら決めていくことも必要であると考えます。

首藤委員 不登校の生徒などを対象とした特別な選抜の実施は、こういった特別な枠を設けて、意欲のある生徒を高校に入学させる意図を感じます。引き続き実施してほしいと思います。そして、こういった生徒に対する進路指導や生徒指導など、教員のスキルを高められる研修の充実をしてほしいと感じました。

高田教育長 委員の皆様から学力検査の平均点がだいぶ下がっているとの御指摘を頂きました。中学校で新しい学習指導要領の全面実施を受けて、問題を回答する際に、様々な要素を総合的に勘案し、考えて表現することを求めていく流れの中で、どうしても中学生は、過去の問題を勉強しながら入試に備えているので、ややその辺りで中学生と我々との考えが若干異なっていたかもしれません。しかし、ほとんどの中学生が学力試験を受検しますので、学力試験は中学校の学習の集大成として成果を発揮する場であり、50分間受検生が意欲を持って取り組める問題を作成することが、教育委員会の大きな役割だと思っております。学校選択問題を含めて、子供たちが持てる力を十分に発揮できる問題であったか、しっかり精査した上で、改めて教育委員会の報告させていただき、来年度の問題作成にいかしていきたいと考えています。

(3) 次回委員会の開催予定について

5月11日(水)午前10時

<非公開会議結果>

第38号議案 埼玉県文化財保護審議会委員の委嘱について

埼玉県文化財保護審議会条例の規定に基づき、埼玉県文化財保護審議会委員を委嘱することを決定しました。

第39号議案 退職手当返納命令処分に係る人事委員会に対する諮問について

退職手当返納命令処分を行うに当たり、職員の退職手当に関する条例の規定に基づき、人事委員会に諮問することを決定しました。

第40号議案 教職員の懲戒処分について

非違行為を行った東部地区・公立小学校主幹教諭(39歳・男)に対して、免職する懲戒処分を決定しました。

**【協議事項】**

次の事項について、協議を行いました。

県立高等学校の整備について